

登録コード	TSH53500	開講年度	2026				
授業科目	集積回路システム設計特別実験Ⅱ					担当教員	上口 光
英文授業名	Integrated Circuit and System Design Laboratory 2					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 4 TSカリ						
	【研究科共通】人類，社会の平和的・持続的発展のために，研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	・【研究科共通】人類，社会の平和的・持続的発展のために，研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観
	【研究科共通】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力					⇔	・【研究科共通】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	・【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	・【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力
	2 6 TSカリ， 2 5 TSカリ， 2 4 TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	・【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観
	【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	・【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	・【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	・【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力
(2)授業の概要	集積回路設計技術について、最新のトピックスを調査し、受講者ごとにテーマ（技術・手法）を選択する。 理論に基づく解析やシミュレーション等の手法を用い、具体的な検討項目や課題について検討し、コンピュータソフトウェアもしくは専用のハードウェアを開発して、性能を評価する手法を修得する。						
(3)授業計画	具体的な週単位の計画はないが、上記内容についてゼミナール形式の授業を定期的に実施する。						
(4)成績評価の方法	各回の調査レポート、及び、発表内容と討論の内容に基づいて成績評価します。						
(5)成績評価の基準	評価は、(i) 問題設定が適切であるか、(ii) 問題の背景を理解し、それを説明できているか、(iii) 問題を解決する上での課題を明示できているか、(iv) その課題に対する既存技術を調査し、把握しているか、(v) 先行研究を踏まえた上で、自分の見解、解決法などが提示できているか、という点で評価します。この5項目の内、3項目までできていれば「水準にある」、4項目までなら「やや上にある」、5項目できていれば「かなり上にある」となり、5項目全て満たし、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」、となります。						
(6)事前事後学習の内容	各演習回毎に指示します。						
(7)履修上の注意	受講者は、定期的にレポートや口頭で進捗状況を報告する。 それらの内容を総合的に評価して、単位の認定を行う。						
(8)質問,相談への対応	ゼミナール形式の授業等において対応する。						
(9)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						